

学校教育自己診断の集計結果について

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。また、平素は本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。

さて、今年度も学校教育診断のアンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。66.7%（回答数210児童数315）の保護者の方に回答をいただきました。たくさんのご回答、感謝申し上げます。ここに「学校教育自己診断」の集計結果をご報告申し上げます。

1. 児童の集計結果について

■ 1「学校へ行くのが楽しい」の項目ではすべての学年で 8 0 % 以上、1 1「運動会や音楽会などの学校行事は楽しい」の項目では、すべての学年で 8 5 % 以上の児童が肯定的な回答をしています。

1「学校へ行くのが楽しい」の項目では、昨年度と比べると高学年では肯定的な回答の割合が上がったのに対して、低学年では下がりました。クラス間、学年間の交流や、運動会、音楽会などの学校行事を通して、より良い人間関係を築き居心地のいい学校・学級作りに努め、より充実した学校生活を送れるよう全教職員で取り組んでいます。いろいろな行事があることは、子どもたちの活躍の幅が広がることだととらえています。

■ 2「授業はわかりやすい」の項目では、すべての学年で 8 0 % 以上の児童が肯定的な回答をしています。3「授業で、自分の考えをもち、伝え合うことがある」の項目では、すべての学年で肯定的な回答が 7 0 % 台に留まっています。

学習活動や教材の工夫、一人一台の学習用端末（iPad）の効果的な活用、主体的・対話的で深い学びをめざした授業づくりなど、子どもたちが考え学び合う学習へとよりアップデートしていこうと研究しています。学年が上がるにつれて、学習内容が難しくなってくることや既習内容の定着が学習理解につながることも踏まえ、授業力を高めるとともに、個に応じた指導や習熟度別指導の充実など学習形態や指導方法の工夫・改善に取り組んでいます。

■ 4「学校で、命の大切さや、他人への思いやりを学ぶことがある」の項目では、すべての学年で 9 0 % 程度の児童が肯定的に回答しています。

道徳の学習をはじめ、いじめ予防授業、各学年の支援理解授業、平和学習を通して、他者理解について考える機会が多くあります。そのことが回答に反映されていると思われる。今後も、学習だけでなく日々の学校生活の中でも相手の気持ちや自身の気持ちについて振り返ったり気づいたりする機会を設けていきます。

■ 5「授業などで、将来の夢や大人になったときの職業（仕事）や生き方について考えることがある」の項目では、低学年で 8 0 % 以上の児童、中・高学年では 7 5 % 以上の児童が肯定的な回答をしています。

キャリア教育は、子どもたちが充実した人生を送るために、自分らしい生き方・働き方を考える力を育て、社会で生きていくための基礎的な力を身につけ、学習への意欲や将来への見通しをもちながら、より良い社会を創っていくための意欲や態度を育むことをねらいとしています。総合的な学習をはじめ、社会見学や体験、地域との交流などを通して自身のキャリア形成につなげていきます。

■ 6「地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいかを教えてもらっている」の項目では、すべての学年で 9 0 % 程度の児童が肯定的な回答をしています。

災害時での自分の安全や命を守ることにについて、「火災避難訓練」「地震や風水害等の避難訓練」「緊急時の一斉下校訓練」を通して学習しています。内容をふり返り、訓練としての価値を高めています。また、迅速かついいないな対応に努め、反省点や課題を検証していきます。ご家庭でも災害時の避難について話し合ってくださいようお願いします。

■ 7「先生たちは、自分がんばったことを認めてくれる」8「先生たちは、私たちの話を聞いてくれる」9「先生たちは、間違っただけを正してくれる」の項目では、すべての学年で 8 0 % 以上の児童が肯定的な回答をしています。中でも9「先生たちは、間違っただけを正してくれる」は、すべての学年で肯定的な回答の割合が 9 0 % 程度でした。一方、1 0「学校には、相談できる先生がいる」の項目では、高学年で 7 0 % を下回っています。

全ての教育活動において、全教職員で子どもたちに関わることができるよう意識しております。今後も、子どもたち一人ひとりをていねいに見取り、的確に褒め、自尊感情や意欲を高められるように努めます。設問 1 0 については、高学年に限らず、他の設問と比較した時、どの学年も肯定的回答の割合が低めで気になるところです。子どもたちとの信頼関係を保ち、担任に限らずどの教職員にでも相談できる環境づくりを進めるように努めます。

■ 1 2「東っ子まつりやベア学年交流などの児童会活動は楽しい」の項目では、低・中学年で 9 0 % 以上、高学年で 8 0 % 以上の児童が肯定的な回答をしています。

児童会活動は、子どもたちが自ら考え、企画・運営をしながら、小さな成功体験を積み重ね、楽しさや自信を育んでいくことができる活動として、本校では大切に考えており、子ども主体をめざして進めてきました。高学年の子どもたちがやりがいを、低学年の子どもたちが異学年との交流の楽しさを、味わえるような活動にしていけるよう働きかけていきます。

令和7年度 児童集計結果										
項目			■ つよくおう ■ そうおう ■ あまりおもわない □ まったくおもわない							
1	学校へ行くのが楽しい。	低	60%			24%		9%	8%	
		中	59%			29%		9%	2%	
		高	40%		43%			6%	11%	
2	授業はわかりやすい。	低	54%			29%		12%	5%	
		中	53%			39%			5%	3%
		高	24%	57%			10%	10%		
3	授業で、自分の考えをもち、伝え合うことがある。	低	51%			23%		16%	10%	
		中	38%		35%		20%		7%	
		高	37%		40%		16%		8%	
4	学校で、命の大切さや、他人への思いやりを学ぶことがある。	低	66%			25%		3%	7%	
		中	78%				16%		2%	4%
		高	63%			25%		6%	5%	
5	授業などで、将来の夢や大人になった時の職業（仕事）や生き方について考えることがある。	低	53%			29%		10%	8%	
		中	51%		27%		14%		8%	
		高	62%			25%		10%	3%	
6	地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいかを教えてもらっている。	低	80%				14%		2%	4%
		中	72%			20%		5%	3%	
		高	53%			37%		9%	2%	
7	先生たちは、自分がんばったことを認めてくれる。	低	74%				18%		8%	0%
		中	56%			26%		14%		4%
		高	41%		41%		10%		8%	
8	先生たちは、私たちの話を聞いてくれる。	低	72%				22%		3%	3%
		中	63%			24%		8%	4%	
		高	38%		46%			10%	6%	
9	先生たちは、間違っただけを正してくれる。	低	78%				17%		4%	4%
		中	71%			20%		4%	5%	
		高	51%		37%			6%	6%	
10	学校には、相談できる先生がいる。	低	66%			22%		7%	6%	
		中	52%		22%		17%		9%	
		高	38%		30%		19%		13%	
11	運動会や音楽会などの学校行事は楽しい。	低	69%				19%		6%	7%
		中	67%			26%			3%	3%
		高	67%			21%		6%	6%	
12	東っ子まつりやベア学年交流などの児童会活動は楽しい。	低	70%				20%		3%	8%
		中	72%			19%		5%	4%	
		高	54%			27%		10%	10%	

2. 保護者の集計結果について

「思う」「どちらかと思う」という肯定的な回答が全体的に多く見られました。全 1 6 項目中、1 2 項目について 80%以上と概ね肯定的な回答をいただいています。

■ 2-3 「学校は、教育方針をわかりやすく伝えている」では、肯定的な回答の割合が昨年度を上回り7 6 %でした。
学校では、日々の教育活動について、学校だより・学年だより・ホームページにて情報発信をしています。肯定的回答の割合が上がったとはいえ、まだまだ改善していく必要を感じる数値です。内容を見直しながら、今後も日々の教育活動について発信の充実を図っていきます。

■ 2-6 「学校行事は、子どもたちが積極的に取り組めるよう工夫されている」では、肯定的回答は9 0 %でした。
「子ども主体」をキーワードにしている本校にとって、学校行事は大きな教育的価値のあるものだと考えております。そのため今年度から設定した項目です。子どもたちがより活躍できるよう、内容の見直しも行っていきます。今後も、保護者・地域の理解や協力を得ながら、実施時期や内容の精選・工夫改善に努め、子どもたちが意欲的に取り組めるように検討していきます。

■ 2-7 「通知表は、子どもの学力や達成度をわかりやすく表すように工夫されている」では肯定的な回答の割合が8 4 %でした。
通知表の所見欄については、1・2 学期は懇談会でのお話で詳しく話させてもらうことで代えさせていただいています。そのことが回答に影響するのか注目していましたが、肯定的回答の割合は昨年度より上がって8 4 %となりました。「あゆみの見方」を保護者の皆さまにお配りするとともに、子どもたちには担任から一人ずつ手渡しで、できるようになったことや努力したところを認め、次の学期の学習意欲につながるようにしています。あゆみの表記についてはこれからも工夫を重ねてまいります。

■ 2-8「先生たちは子どもの能力や努力を適切・公平に評価している」2-9「先生たちは子どものことを理解してくれていて、相談に応じてくれる」2-10「先生たちは、子どもの間違った行動を適切に指導してくれる」では、肯定的な回答の割合が8 0 %以上でした。
どの項目も肯定的回答の割合は昨年度とほぼ変わりありません。ただ、どの項目においても、「思う」の割合が昨年度よりも増えており、うれしく思います。各学級では担任が子どもたちに寄り添い、じっくりと話を聞くようにしています。しかし、全ての子どもが担任との信頼関係を築くことは難しいかもしれません。そのため、学年や学校全体で子どもの様子を見守り相談に応じるようにしています。また、SSWや教育相談員等とも連携し、組織的な児童理解に努めています。子どもたちと向き合い理解を深めるとともに、学習状況や学校生活の様子などを適切に家庭と共有していけるように努めます。

■ 2-11 「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」は、昨年度と同じで、肯定的な回答が8 5 %ありました。
本来なら全ての子どもたちが学校へ行くのを楽しみにしていてほしいところです。学校生活の中で最も多くの時間を過ごすのは授業の時間です。授業の中で「できた」「わかった」と感じる瞬間と認めてもらえる経験を多く持てるよう授業改善を図っていきます。また、学校行事や児童会活動についても子ども主体をキーワードに子どもたちが意欲的に取り組めるように工夫していきます。

■ 2-12 「学校は、いじめのない学級づくりに取り組んでいる」は、肯定的な回答が7 0 %でした。
肯定的な回答の割合は、昨年度より増えました。昨年度と比較すると、肯定的な回答のうち「思う」の割合が増えたこと、「わからない」の割合が減っていることは、励みにしていきたいと思います。とはいえ、他の項目と比べるとまだまだ低い数値です。いじめは起こりうるものとして、早期発見・早期対応を心がけています。今後、一層いじめのない学級・学校づくりに取り組んでいきます。保護者のみなさまにも学校での取組を積極的に発信していきます。

■ 3-2 「学校ホームページやブログをよく見ている」についての肯定的な回答は昨年度同様で2 6 %でした。
他の項目と比べて圧倒的に低いのに加えて、肯定的回答の割合が昨年度と全く同じということも寂しい結果です。学校だより、保健だより、給食だより、学年・学級だよりを主として、学校の様子を発信しています。学校ホームページではブログで日々の子どもの様子を発信していますので、ご覧いただけるように内容を工夫してまいります。

■ 3-3 「子どもと友だちのことや学習など、学校での様子について話をしている」では、肯定的回答は9 2 %でした。
昨年度同様に保護者のみなさまが、子どもたちが学校で安心して過ごせるように、家庭で声をかけていただいたり、応援してくださっていることがよくわかる結果となりました。子どもたちは、保護者のみなさまの温かい見守りの中で自分の力を発揮することができます。これからもお子さんの思いを受け止め、子どもたちが学校生活を安心して送れるように家庭での励ましの声かけをよろしくお願いします。

自由記述による「学校をよくするためのご提案」には、紙面の都合でご意見の全てを紹介することはできませんが、内容としましては次のようになります。

・児童への指導に関すること ・児童の生活に関すること ・学校行事に関すること ・学校施設面に関すること 等

保護者のみなさまからの温かい言葉、そして、ご意見やご指摘をいただき、感謝いたしております。一部厳しいご意見もいただきましたが、一つひとつのご意見に対しましては、真摯に受け止めさせていただくとともに、また、そのご意見についてしっかりと考え、本校の教育活動がよりよいものになるよう、教職員一丸となって努力してまいりたいと考えております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。
子どもたちが心豊かで健やかな成長を促すことのできる学校体制づくりを進めるためにも、学校、地域、すべての保護者のみなさまで吹田東小学校のすべての児童を見守っていきたいと思います。子どもたちの更なる「学力向上」をめざし、「学びに対する姿勢」や「豊かな心」を育んでいきたいと考えますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

